

令和7年度 第1回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和7年5月30日（金） 13時30分から14時50分まで
2. 開催場所 浜松市立浜北北部中学校 尽力ホール
3. 出席委員 山本忠雄 河合貴幸 馬塚孝雅（学校支援CD） 鈴木貴子 小西雅子
4. 欠席委員 なし
5. オブザーバー 細川恭由（中瀬協働センター）
6. 学校支援コーディネーター（委員外） 岡本奈緒（兼CSディレクター）
7. 学 校 中野有哉（校長） 松島 歩（教頭） 永田大介（主幹） 石島正巳 市川智也（CS担当教員） 柳瀬翔太（生徒指導主事）
8. 教育委員会 山本 美世絵（教育総務課）
9. 傍 聴 者 なし
10. 会議録作成者 岡本奈緒

11. 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、山本委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された山本委員から河合委員を副会長に指名する旨の報告があった。

12. 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

13. 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止等のための基本的な方針について
- (3) 今年度の目標設定
- (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

14. 会議記録

司会の教頭より、委員総数5名のうち5名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 今年度の学校運営基本方針について

校長より、別紙資料に基づき説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等のための基本的な方針について

生徒指導主事より、別紙資料に基づく説明といじめ認知件数についての報告があり、委員からは以下の発言があった。

河合委員：組織的に対応するというお話を伺い、とても良いことだと思う。一番心がけるべきことは、大切な子供たちの命が失われることが起こりうるということ。被害に遭われた方だけでなく意識せず加害的な立場だった子どもの心が傷付くこともある。生きがいのある学校生活を送ることができれば、心のモヤモヤも晴れ、まっすぐに歩む子が増えるだろう。

ほくほくタイムなど積極的にいじめのない環境を作っていこうという取り組みがなされ、いじめが起きてしまった後に対応する手立てもできていると感じる。いじめの件数に怯んではいけない。見つからない少ない件数より見つかった多くの件数のほうが学校としては努力していると感じる。お天気モニターなどの活用は非常に良い取り組みと感じる。自信をもって基本方針を全職員に共有し、邁進していただけたらと思う。

(3) 今年度の目標設定

岡本より、R6年度自己評価表をもとに昨年1年間の運営について簡単に説明。

山本会長：この協議会も4年目に入るが、未来永劫と続く。毎年、目まぐるしく変化していくことではない。地道に小さな階段を一段一段上っていく取り組みしかできないのではないかと。

小西委員：今年度の目標は昨年同様でよい。

鈴木委員：昨年よりもう一步踏み込んだ活動に繋げていけたらと思う。さらに子供たちと身近に触れ合いながらできることがあればと思う。

馬塚委員：達成できたもの、課題もあることが分かった。達成できたものは継続することも大切。子供たちと地域が一緒になってできることを熟議する、と紙面にある。昔、廃品回収で地域を訪問し回収にまわった。今、一人暮らしの方がコンテナまで持っていけないという困り声など、活動のヒントにはならないか。

教頭：昔は各家庭にリヤカーがあった時代だったが今は無く、運ぶことができない。また、地域のフォローアップ組織もなくなり、地域で見てくれる大人がいないということだろう。

馬塚委員：廃品回収も当時はやらされ感があったが、今となれば地域との関わりとして意図があったのだと感じる。無くなった寂しさもあるが何かヒントがあると思う。模索していきたい。この組織でできることには限界があるが、例えば地域のお祭り。子供たちは何かしらの居場所や役割、責任感を求めていると感じる。そういった機会が地域にたくさん隠れているような気がする。CSとうまく繋げていけたらと思う。

山本会長：R7年度の目標は、あいさつ運動、生徒会との交流を含め、昨年度の取り組みを継続していくということでどうか。

鈴木委員：昨年、放課後の交通ルールが悪いと聞いた。どのようにマナーが悪いのか分からない。まずは様子を伺って、解決の糸口を見つけられたらと思う。

朝のあいさつ運動とは逆に、下校時間の「さようなら」のあいさつ運動を兼ねながら交通ルールの様子を見ることはできないか。

山本会長：通学路は四方八方であり一ヶ所に集まってできないこともあり、下校状況を見守りに行くことは、難しくやりにくさは否めないが、下校時のあいさつ運動も検討していきたい。

教頭より、夢育やらまいか事業に対する意見書について説明。

今年度のスケジュールを確認し、会を閉じた。